

工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

【行動計画概要版】

工事事故防止行動計画

交通基盤部が所管する土木工事の事故発生状況（平成29年度）は、死亡事故は前年度に引き続き0件だったが、労働災害（傷害）事故は前年度の6件に対し9件、公衆災害（傷害）事故は前年度の0件に対し3件、公衆災害（物損）は前年度の36件に対し43件といずれも増加した。

また、労働災害・公衆災害ともに「不注意」が事故原因の大半であり、「災害リスクに対する想定が不十分であること」と「事故の教訓が生かされていないこと」が課題となっている。

このため、工事事故の防止を目的とする、より実効性の高い新たな取組として「事故対策PDCA（予測⇒対策⇒検証⇒改善）サイクルの構築」を基本方針とした「工事事故防止行動計画」を策定した。

事故対策PDCAサイクル

各工事現場の①予測②対策③検証④改善

①発注者は、安全管理に関する特記仕様書添付
受注者は、予想される「事故対策リスト」と発生位置を示した「マップ」を現場に掲示

②受注者は、これに基づき安全対策を実施するとともに、工事の進捗に応じて見直す。

③発注者は、安全パトロールで対策の実施状況や新たなリスクがあれば、必要な措置を指示。

④受注者は、是正措置や想定される追加安全対策を行う。

また、県工事全体のPDCAとして、各工事現場で得られた事故事例や有効な取り組みなどの知見を、ニュースレター等により、県全体で情報共有することで、事故防止の「輪」を広げる。

10月末までの事故状況

本年度10月末時点における、交通基盤部所管の土木工事の事故発生状況は、

(前年同期増減)

○労働災害（死亡）事故は、	0件（±0）
○労働災害（傷害）事故は、	1件（-6）
○公衆災害（死亡）事故は、	0件（±0）
○公衆災害（傷害）事故は、	1件（±0）
○公衆災害（物損）事故は、	21件（-1）

※物損事故の内訳は、7件が地下埋設物損傷

安全管理特記仕様書

発注者は、行動計画に定める重点災害が想定される工事の契約図書に、「工事安全管理に関する特記仕様書」を添付する。

（10月1日以降発注する土木工事から適用）

受注者は、「予想される事故対策リスト」を作成し、施工計画書に添付するとともに、予想される事故の発生危険位置を示した「工事事故ハザードマップ」を作成し、現場に掲示する。

受注者は、作業開始後も予想される事故の把握に努め、「リスト」と「マップ」を、随時、更新する。

リストとマップ

● 予想される事故対策リスト

「リスト」に記載する事故種別は、重点災害に位置付けた「挟まれ・巻き込まれ」「墜落・転落」「地下埋設物」「架空線」「現場進入防止」「交通事故」「クレーン等の転倒」とし、各種マニュアルを参考に現場状況に応じ具体的な対策を記載する。

「安全サポートマニュアル」

http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/anzaen_support

「地下埋設物の事故防止マニュアル」

http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/pdf/080619_manual.pdf

「架空線等上空施設の事故防止マニュアル」

http://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/pdf/091225_kasen.pdf

● ハザードマップ

「リスト」に記載する位置番号を、工事計画平面図などを使って、「マップ」に示す。

工事事故防止合同研修

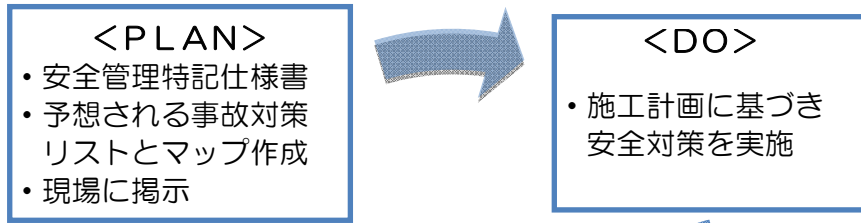
官民一体となった安全意識の啓発の取組として、静岡県建設業労働災害防止協会静岡県支部（けんさいぼう）と共同して、受・発注者を対象とした安全講習及び行動計画の説明と意見交換会を合同開催する。

東部地区：沼津労政会館 10月23日（火）

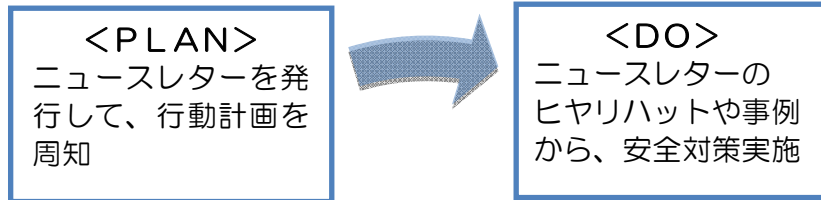
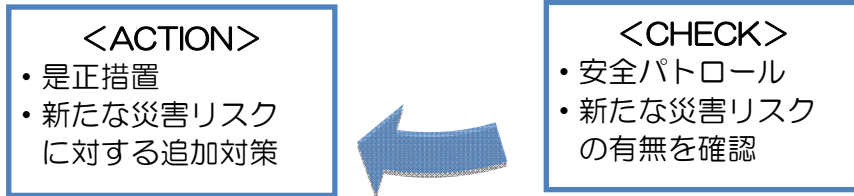
西部地区：袋井土木事務所 11月6日（火）

中部地区：島田土木事務所 11月20日（火）

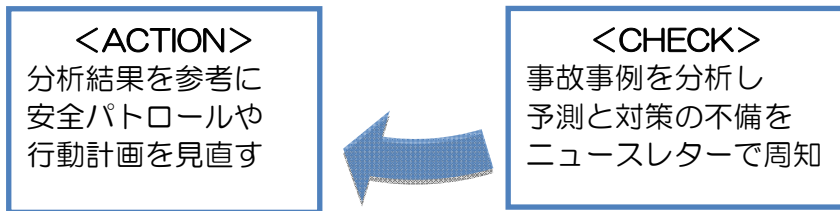
工事事務防止行動計画
【基本方針】
事故対策PDCAサイクルの構築



① 各工事現場
のPDCA



② 県工事全体
のPDCA



③官民一体となった取組の推進
「行動計画」の周知と「合同研修会」を開催
東部 10月23日(火) 沼津労政会館
西部 11月6日(火) 袋井土木事務所
中部 11月20日(火) 島田土木事務所